

第58期 中間株主通信

2024年4月1日 - 2024年9月30日



成長市場に対して強みを発揮できる 企業体質を築き上げます。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業へのご理解とともに格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第58期中間会計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）の営業状況をご報告申し上げ、中期経営計画にもとづく成長戦略の取り組みをご説明させていただきます。

2024年11月

代表取締役社長 **加納 慎也**



A **Q** 上期を振り返り、事業環境と営業状況をご説明願います。

建築業界を中心とする市場の動きは、都市部再開発の新築物件が竣工ピークを過ぎたものの、大阪万博の開催に向けた工事の増加や、地方における半導体工場の建設などにより、引き続き活況を呈しています。そうした中で当社の営業状況は、都市部を中心とするビル移転・入居工事の増加に伴い、オフィス向けの可動間仕切が好調に推移し、他の品目も病院や学校、ホテルなどの需要を捉え、堅調を維持しました。

2024年6月には、増床した東京ショールームをリニューアルオープンし、デモンストレーション機能を拡充しました。来場者数を従前の1.5倍に拡大するなど、受注増加につながる営業効果を発揮しています。今後は、同ショールームのスペースを活用した設計士向けセミナーなどの

イベントも開催していく考えです。

注力製品では、2019年に発売したオフィス向け可動間仕切「マイティスマートレール」が、ダブルガラスによる遮音性能やスタイリッシュなデザインで多くのお客様に高く評価され、売上を大幅に伸ばしました。これからもオフィス向け可動間仕切の定番商品として、業績に寄与し続けるものと期待しています。

結果として売上高は、前年同期比で増収し、上期業績における過去最高を更新しました。利益面は、東京ショールームの増床・リニューアルに伴う費用の増加や、人件費・物流費などの上昇を受け、減益を余儀なくされましたが、概ね期初計画に沿った実績となりました。

※ 業績の詳細は3頁以降をご参照ください。



中期経営計画の進捗状況と今後の取り組みをお聞かせください。

現在推進中の5ヶ年中期経営計画「NEXT VISION 2028」（2024年3月期～2028年3月期）は、「既存間仕切事業の成長」「新規製品の創出」「生産・物流オペレーションの高度化」を基本方針に定め、「売上高年平均成長率3～6%（2023年3月期基準）」「売上高営業利益率7～10%」「ROE 5～8%」の達成を目指すものです。

計画2年目の今期は、「既存間仕切事業の成長」への取り組みとして、前述の通り東京ショールームをリニューアルしましたが、これに続いて下期には、大阪ショールームを移転し、12月にリニューアルオープンする予定です。さらに来期（2026年3月期）は、名古屋ショールームの増床を行い、東名阪の各都市部における営業活動でブランディング強化を図る方針です。

「新規製品の創出」では、新たな仕上げ材を用いたパーティション「STEERA」を今冬に発売する予定です。

「STEERA」は、外部設計事務所との協業により製品化したもので、これまでの仕上げ材にない意匠性を全面に出しており、ショールームや販売促進物を通してお客様にその魅力を伝えていきます。

「生産・物流オペレーションの高度化」では、加賀工場の生産増強とストックヤードの拡張に向けて、2025年2月より同工場2号棟の建設に着工します。2026年6月からの操業開始により、可動間仕切の生産能力を現在の1.5倍に高めつつ、物流機能を効率化する計画です。

当社は、これらの取り組みを通じて、事業環境の変化を捉えながら、成長市場に対して強みを発揮できる企業体質を築き上げていきます。今後の課題として、足もとで確かな手応えを得ているオフィス向けの可動間仕切のみならず、トイレブースなど他の製品群についても提供価値をもっと高め、売上の拡大を目指します。



株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社は、2024年10月1日付で、当社普通株式1株を2株とする株式分割を実施しました。これは、投資単位当たりの金額を引き下げ、株主・投資家の皆様にとってより投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性向上につなげていくことが目的です。

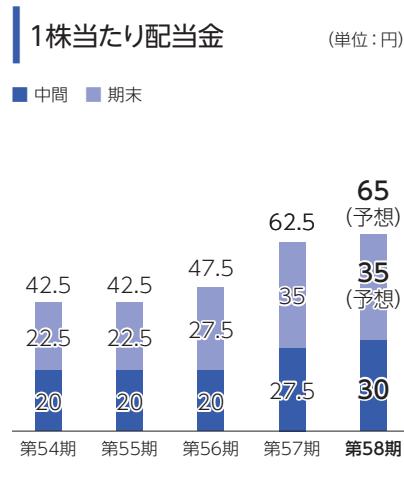
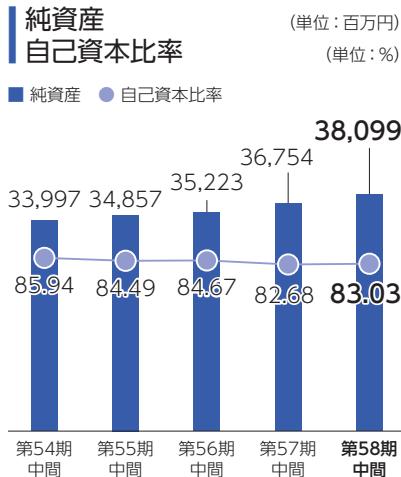
また、東京証券取引所の要請による「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の一環として、本株式分割により投資家層の拡大を図り、株式市場における評価につなげたいと考えています。中期経営計画の目標である「ROE 5～8%」を達成し、さらなる業績向上により利益還元の水準を高めていくことで、株主・投資家

の皆様のご期待に応じてまいります。

なお今回の中間配当は、純資産配当率（DOE）3.0%を下限とし、配当水準の安定的向上を目指す「株主還元方針」にもとづき、1株当たり60円とさせていただきました。期末配当は、前述の株式分割を反映して同35円（株式分割前換算で同70円）を予定しています。

株主・投資家の皆様におかれましては、これからの小松ウオール工業が目指す持続的成長と企業価値の拡大、そしてさらなる社会的貢献にご期待いただき、引き続き長期のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト



※2024年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。過年度の配当金についても遡及修正しております。

決算情報の詳細は、小松ウォール工業のWebサイトでもご紹介しています。

<https://www.komatsuwall.co.jp/ir/library/>



財務諸表要旨

貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 2023年4月1日～ 2024年3月31日	当中間会計期間 2024年4月1日～ 2024年9月30日
資産の部		
流動資産	32,539	30,774
固定資産	14,915	15,111
有形固定資産	11,767	12,113
無形固定資産	385	403
投資その他の資産	2,763	2,594
資産合計	47,455	45,886
負債の部		
流動負債	6,940	5,301
固定負債	2,447	2,484
負債合計	9,388	7,786
純資産の部		
株主資本	37,970	38,074
資本金	3,099	3,099
資本剰余金	3,035	3,035
利益剰余金	34,361	34,437
自己株式	△ 2,525	△ 2,498
評価・換算差額等	96	25
その他有価証券評価 差額金	96	25
純資産合計	38,067	38,099
負債純資産合計	47,455	45,886

損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 2023年4月1日～ 2023年9月30日	当中間会計期間 2024年4月1日～ 2024年9月30日
売上高	19,691	20,117
売上原価	13,140	13,296
売上総利益	6,550	6,820
販売費及び一般管理費	5,250	5,849
営業利益	1,300	971
営業外収益	72	76
経常利益	1,373	1,048
特別利益	0	54
特別損失	0	3
税引前中間純利益	1,373	1,100
法人税、住民税及び事業税	428	297
法人税等調整額	△ 5	63
法人税等合計	423	361
中間純利益	950	738

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

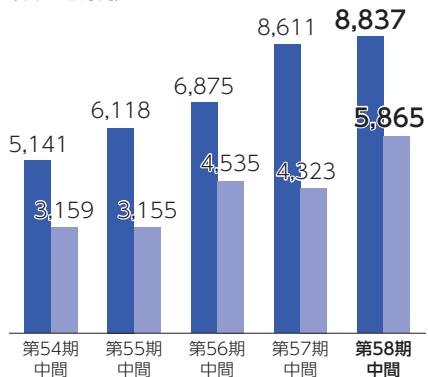
	前中間会計期間 2023年4月1日～ 2023年9月30日	当中間会計期間 2024年4月1日～ 2024年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	2,424	1,677
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 637	△ 1,156
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 528	△ 669
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	1,258	△ 147
現金及び現金同等物の 期首残高	11,476	13,521
現金及び現金同等物の 中間期末残高	12,734	13,373

可動間仕切



レイアウト変更の際、使用方法に応じて撤去、移設が可能な間仕切であります。

■ 売上高 ■ 中間期末受注残高
(単位：百万円)



固定間仕切



建物付帯工事として溶接により躯体に取付ける間仕切ならびに壁面化粧鋼板パネルの金属工事です。

■ 売上高 ■ 中間期末受注残高
(単位：百万円)



トイレブース



ユニット化したトイレ専用の間仕切であります。

■ 売上高 ■ 中間期末受注残高
(単位：百万円)

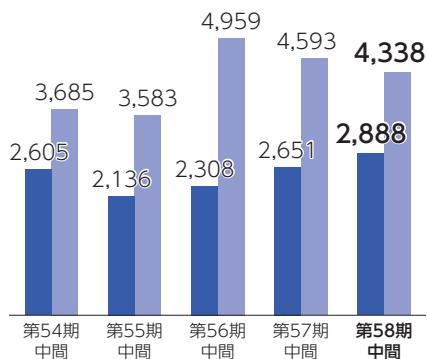


移動間仕切



ホテルの宴会場等の間仕切として、ユーザー自身が移動させて使用する間仕切であります。

■ 売上高 ■ 中間期末受注残高
(単位:百万円)

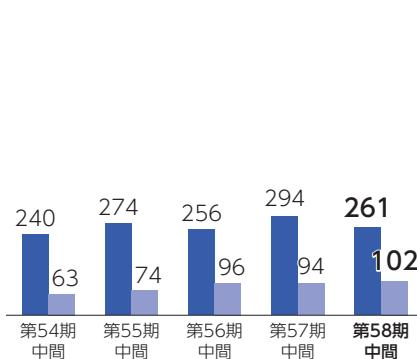


□一間仕切



主に、オフィス用衝立およびローパーティション等のオフィス家具であります。

■ 売上高 ■ 中間期末受注残高
(単位:百万円)

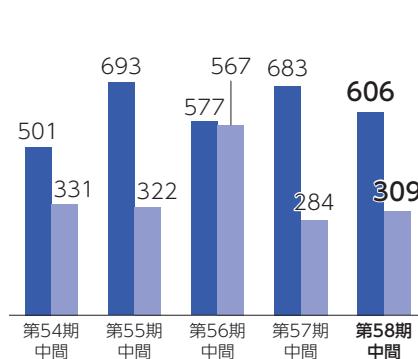


その他



主に、ABW型の働き方に対応した間仕切ならびに既存間仕切の解体・移設組立であります。

■ 売上高 ■ 中間期末受注残高
(単位:百万円)



2024年12月 大阪新ショールーム 「ShowRoom? ShowWork Osaka」

小松ウオールはライブオフィス兼ショールーム「ShowRoom? ShowWork Osaka」を2024年12月にグランドオープンいたします。新製品・新仕様・特注仕様の製品展示はもちろん、空間創りにこだわったショールームとなっています。製品を見るだけでなく、様々な空間や働き方を体感してください。

DATA >>

大阪ショールーム

〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町4丁目2番13号 アーバンネット御堂筋ビル 18F・19F
<総合受付は19F> TEL 06-6206-1071 営業時間 9:00~18:00 (休館日) 土・日・祝
ショールームにお越しになられる場合は、事前にご予約をお願いいたします。



▶▶CONCEPT

SHOW WORK

全員で新たな空間に明るい職場環境を創り進化し続ける

ショールーム入り口には大型スライディングウォール「KOMATSU Gate」。お客様を迎える新しい大阪オフィスの顔「KOMATSU Lounge」。他にも高層階からの眺望を望みながら作業ができる「ENGAWA」や、実験的な試みをする場「KOMATSU INNOVATION SQUARE」など、ABW型の働き方に対応した様々な空間をご提案しています。

大阪新ショールームのコンセプトである「実際に社員が使っているオフィス空間」「いろいろなシーンに対応し活用できるオフィス空間」を体感することができます。

何度も来場したいと思うショールームとなっていますので、是非一度、新しくなった大阪ショールームへお越しください。



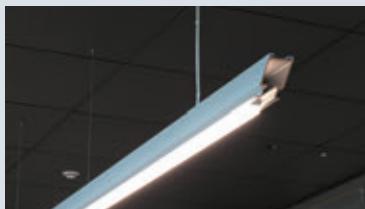
▶▶POINT



表面拡大図

「花坂陶石」 残土を塗壁に使用

花坂陶石とは、九谷焼を作る粘土の原石のこと。九谷焼の原点の地である、小松市の花坂陶石山より産出されます。陶器を作る際に不要になった碎石をパネル表面仕上げに使用しており、持続可能な循環型社会の実現にも貢献しています。



小松ランニングのレールを採用した照明

これまであらゆる空間を演出し、創造してきた小松ランニングのレールを採用。小松ウォール製品の優れた技術と、熟練された施工力に対する強い自信を表現しております。



「九谷五彩」を表現したカーペット

当社創業の地である小松市を含む加賀地方南部で生産される「九谷焼」。九谷焼の特徴である「九谷五彩」という色鮮やかな絵付けをイメージしたカーペットカラーを選定しました。

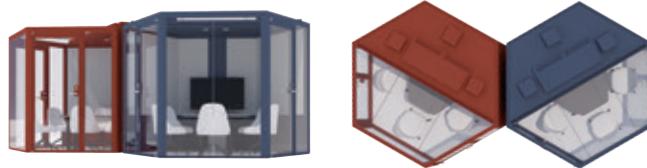
新製品紹介

2024年5月発売

皆で集まるミーティングブース「Agora」



最大5人で集まって話せる六角形の天井付きブース「Agora（アゴラ）」を発売いたしました。前面と天井面のガラスで、開放感のある設えとなっています。遮音性能にこだわり、前面3面はダブルガラス、背面パネルはグラスウール充填で、室内外をしっかりと遮音します。オフィスの真ん中や、オープンな空間の打合せスペースなど、自由なカラーで空間を楽しく彩ります。



「キッズデザイン賞」受賞

学校用間仕切「オープンセサミ」が「キッズデザイン賞」を受賞

多目的な学習を実現するオープン型教室「オープンセサミ」が「第18回キッズデザイン賞」を受賞しました。オープンセサミは、中央部に大開口を作ることで、教室と廊下を一体の空間にできる学校用間仕切です。様々な学習に対応し、文科省の提唱する「柔軟で創造的な学習空間」をつくれます。溶接を伴わない後付け工法により、建物の長寿命化にも配慮しています。



サステナビリティへの取り組みについて

SBT認定の取得について

小松ウオールは2030年度に向けた温室効果ガス削減目標について、SBTi (the Science Based Targets initiative) の認定を取得しました。今後も、温室効果ガス排出量の削減をはじめとする環境負荷の低減に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



「禁煙宣言」と健康経営推進

小松ウオールは健康経営推進のもと、2024年7月1日付で「禁煙宣言」を行いました。受動喫煙による健康被害防止、疾病予防および生産性の向上の観点より、段階的に社内全面禁煙に向けた取り組みを実施し、従業員のさらなる健康の保持・増進を推し進めていきます。

株主の皆様へ

株式分割の実施について

株主の皆様がより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図るため、2024年9月30日時点で保有されている株式を対象に、2024年10月1日付で1株を2株に分割する株式分割を行いました。

株式分割に伴い、期末配当予想額を1株当たり70円00銭から35円00銭に修正いたします。この修正は、分割比率に合わせて実施するものであり、実質的な変更はありません。

第58期 中間配当金の計算基準について

今回の株式分割は2024年10月1日を効力発生日としておりますので、2024年9月30日を基準日とする第58期の中間配当金の支払いにつきましては、株式分割前の株式数を基準に実施いたします。

会社概要

商号 小松ウオール工業株式会社
(KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD)

設立 1968年1月22日

資本金 3,099,945,552円

事業目的 1. スチールおよびアルミニウム製品の製造、販売ならびに工事施工
2. 室内装備品の販売および設計施工
3. 前各号に附帯する一切の事業

従業員数 1,401名

(注) 従業員数には、嘱託およびパートタイマー(計37名)は含まれておりません。

取締役一覧

代表取締役社長執行役員 加納 慎也

取締役常務執行役員 山田 新一

取締役常務執行役員 廣瀬 紀夫

取締役常務執行役員 綾 由紀夫

取締役 蜂谷 俊雄

取締役 古谷 まゆみ

取締役常勤監査等委員 比嘉 正人

取締役監査等委員 中田 浩一

取締役監査等委員 松山 純子

(注) 取締役 蜂谷俊雄氏、古谷まゆみ氏、中田浩一氏および松山純子氏は社外取締役であります。

株式の状況

発行可能株式総数 50,000,000株 単元株式数 100株

発行済株式の総数 21,806,480株 株主数 9,523名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
KANO株式会社	3,463,698	18.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,287,000	12.08
株式会社北國銀行	884,560	4.67
株式会社日本カストディ銀行	824,400	4.35
小松ウオール工業従業員持株会	702,880	3.71
有限会社マルヨ	386,000	2.04
原田株式会社	360,000	1.90
加納 裕	322,024	1.70
明治安田生命保険相互会社	309,200	1.63
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	263,858	1.39

(注) 1. 2024年10月1日付で1株につき2株の割合で実施した株式分割を反映しております。
2. 持株比率は自己株式(2,874,794株)を控除して計算しております。
3. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社および株式会社日本カストディ銀行の持株数は、信託業務に係るものであります。
4. 株式会社日本カストディ銀行が保有する824,400株には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産251,600株が含まれております。

所有者別株式数分布

※自己株式は一般国内法人に含んでおります。

一般国内法人 38.06%	個人・その他 33.48%	金融機関 21.23%
外国法人6.06%		証券会社1.17%

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

上場取引所 東京証券取引所 プライム市場

株主確定の基準日 定時株主総会、期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

定時株主総会 6月

単元株式数 100株

公告方法 電子公告 (<https://www.komatsuwall.co.jp>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社

小松ウオール工業株式会社

石川県小松市工業団地1丁目72番地

www.komatsuwall.co.jp



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

